

飛騨高山DX推進：令和7年度進捗レポート

～人にやさしいデジタル都市の実現へ～

市民サービスの向上（便利・快適）



マイナンバーカード 活用サービス 8種類

目標比 133%。『書かない窓口』やデジタル通知の導入により、目標の6種類を上回る成果を達成。



行政手続きのオンライン化が 1,161種類へ拡大

令和5年度の908種類から大幅に増加し、より『いつでもどこでも』の手続きが可能に。



『書かない窓口』で 申請負担を軽減

マイナンバーカード読み取りによる自動転記で、窓口での手書き時間を大幅に短縮。

市役所業務の刷新と地域活性化（効率的・効果的・活気）



AI活用による業務削減 16,973時間

目標の約9倍。自治体専用生成AI『zevo』等の導入により、当初目標1,800時間を大幅に超過。

令和5年度：
850時間



ペーパーレス化の進展： 2,223千枚の印刷削減

電子決裁やペーパーレス会議の推進により、目標を達成し経費節減と効率化を両立。

令和5年度：
7,466千枚



DX人材育成の 学習会50回開催

官民連携プラットフォームを通じ、目標の2倍以上の頻度で地域DXの機運を醸成。